

# 平成24年度 第2回 発注企業動向調査 結果報告書

## <概要>

前回調査時点においては緩やかな回復傾向が見られたが、今期においては、業種によるばらつきはあるものの、全体的に下降の傾向が見られる。

見通しについては売上額、外注額とも「横ばい」とする企業が増える傾向となった。

## <今回調査の特徴>

- 売上額の比較**：全ての業種において、前回調査時点と比較して低下した。特に一般機器、輸送用機器、精密機器において低下幅が大きく、厳しい状況が見られる。
- 売上額の見通し**：全ての業種において、半年後の売上については低下、1年後には低位横ばいなしさらに低下すると見通しており、先行きも厳しい見込みである。
- 外注額の比較**：一般機器、電気機器及び輸送用機器において、大きく低下したが、唯一、精密機器において上昇傾向が見られた。
- 外注額の見通し**：全体的に1年後の外注の「増加」を見込む企業は減少傾向にあり、外注額は低下する見通しである。
- 受注企業に望む能力**
  - <品質>すべての業種において、「要求どおりの加工精度」及び「バラツキの無い品質安定度」への要求が高くなっている。
  - <コスト>電気機器及び輸送用機器を除くすべての業種において、「発注内容に応じたコスト対応」を最も重視する傾向にある。
  - <納期>輸送用機器及び精密機器を除くすべての業種においては「状況に応じた柔軟な納期対応」を、輸送用機器においては「納期管理、在庫管理能力の強化」を、精密機器においては「ジャストインタイムへの対応」を重視する傾向がみられる。
  - <情報収集>精密機器を除くすべての業種においては「受注企業からの営業活動」を、精密機器においては「インターネットホームページで資材調達先を募集」を最も重視する傾向にある。
- 新規外注先の開拓**：全ての業種で「探していない」とする企業が5割以上を占める結果となった。

平成24年11月  
公益財団法人京都産業21

## 1. 調査概要について

- (1) 調査目的 財団に登録する発注企業の動向を把握し、情報として提供することで、府内の中小企業の経営計画策定の一助とするとともに、より効果的な受注活動等の促進を図り、併せて財団における取引あっせん業務の円滑化を図る。
- (2) 調査対象企業 財団に登録する機械金属関連発注企業 155 社
- (3) 調査時期 平成24年9月末現在 \* 調査回収締切:11月2日
- (4) 調査回収企業数 97 社(回収率: 62.6 %)
- 内訳 金属製品 18社(18.8%) 一般機器 36社(37.5%) 電気機器 20社(20.8%)  
 輸送用機器 9社(8.3%) 精密機器 14社(14.6%)

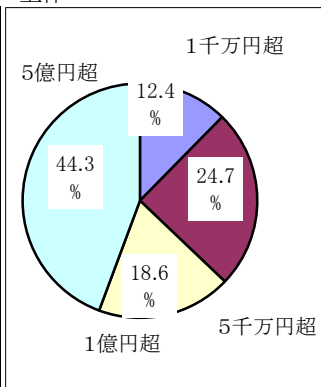
### 【業種別資本金別回収企業数】

※上段:企業数、下段:比率割合

### 【業種別資本金別回収企業数】

全体

	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
1千万円超	12	4	6	0	0	2
5千万円以下	12.4%	22.2%	16.7%	0.0%	0.0%	14.3%
5千万円超	24	4	9	6	1	4
1億円以下	24.7%	22.2%	25.0%	30.0%	11.1%	28.6%
1億円超	18	2	10	2	1	3
5億円以下	18.6%	11.1%	27.8%	10.0%	11.1%	21.4%
5億円超	43	8	11	12	7	5
	44.3%	44.4%	30.6%	60.0%	77.8%	35.7%
合計	97	18	36	20	9	14
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



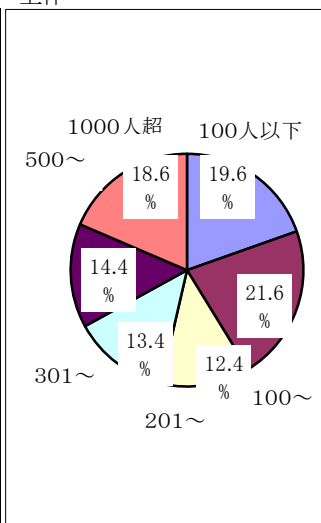
### 【業種別従業員別回収企業数】

※上段:企業数、下段:比率割合

### 【業種別従業員別回収企業数】

全体

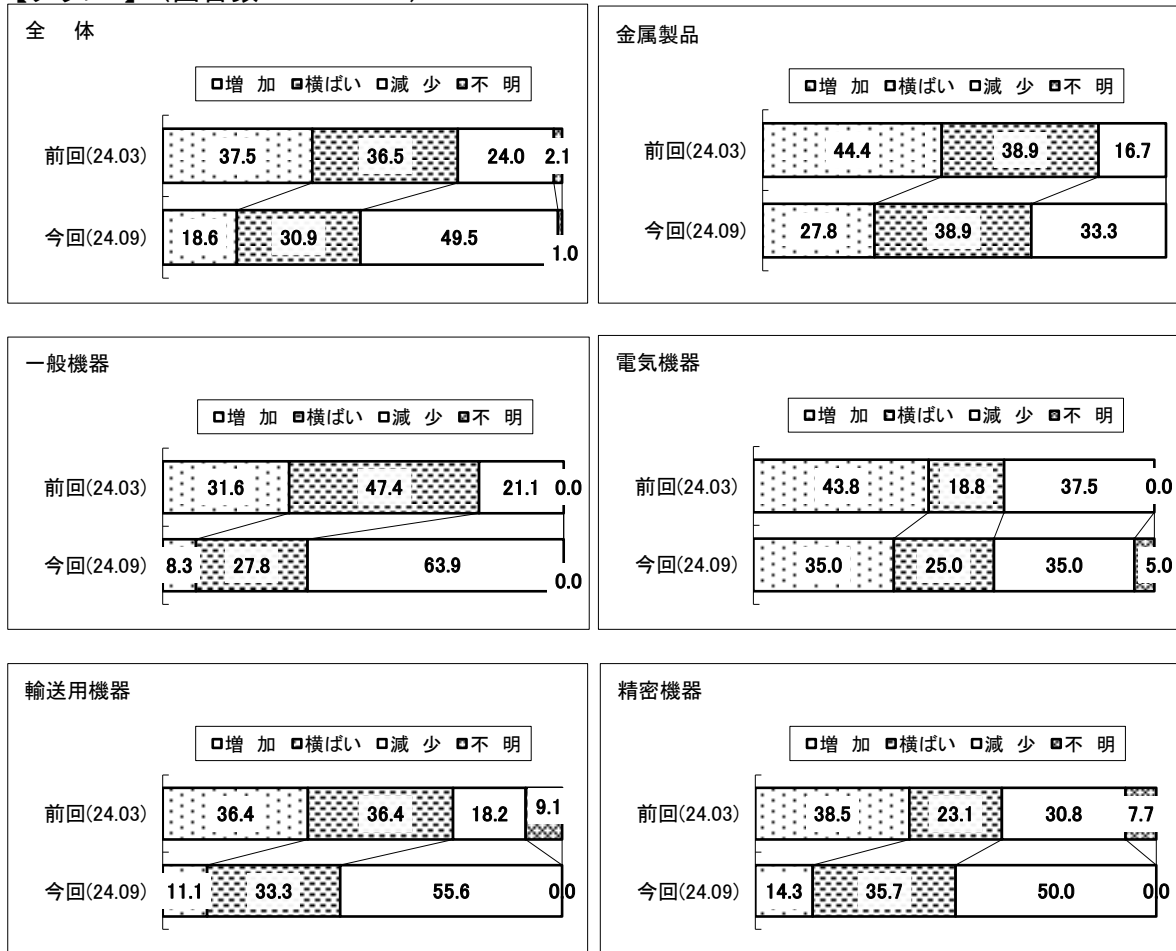
	全体	金属製品	一般機械	電気機器	輸送用機器	精密機器
100人以下	19	8	9	0	0	2
	19.6%	44.4%	25.0%	0.0%	0.0%	14.3%
101~	21	4	8	7	0	2
200人	21.6%	22.2%	22.2%	35.0%	0.0%	14.3%
201~	12	3	3	2	2	2
300人	12.4%	16.7%	8.3%	10.0%	22.2%	14.3%
301~	13	0	8	2	1	2
500人	13.4%	0.0%	22.2%	10.0%	11.1%	14.3%
501~	14	2	4	2	3	3
1000人	14.4%	11.1%	11.1%	10.0%	33.3%	21.4%
1000人超	18	1	4	7	3	3
	18.6%	5.6%	11.1%	35.0%	33.3%	21.4%
合計	97	18	36	20	9	14
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



## 2. 売上について

(1) 平成24年度「上期」(24.04～24.09)と平成23年度「下期」(23.10～24.03)の売上額の比較

【グラフ1】(回答数 97)



\*業種別回答数

今回(24.09)	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	18	5	3	7	1	2
横ばい	30	7	10	5	3	5
減少	48	6	23	7	5	7
不明	1	0	0	1	0	0
合計	97	18	36	20	9	14

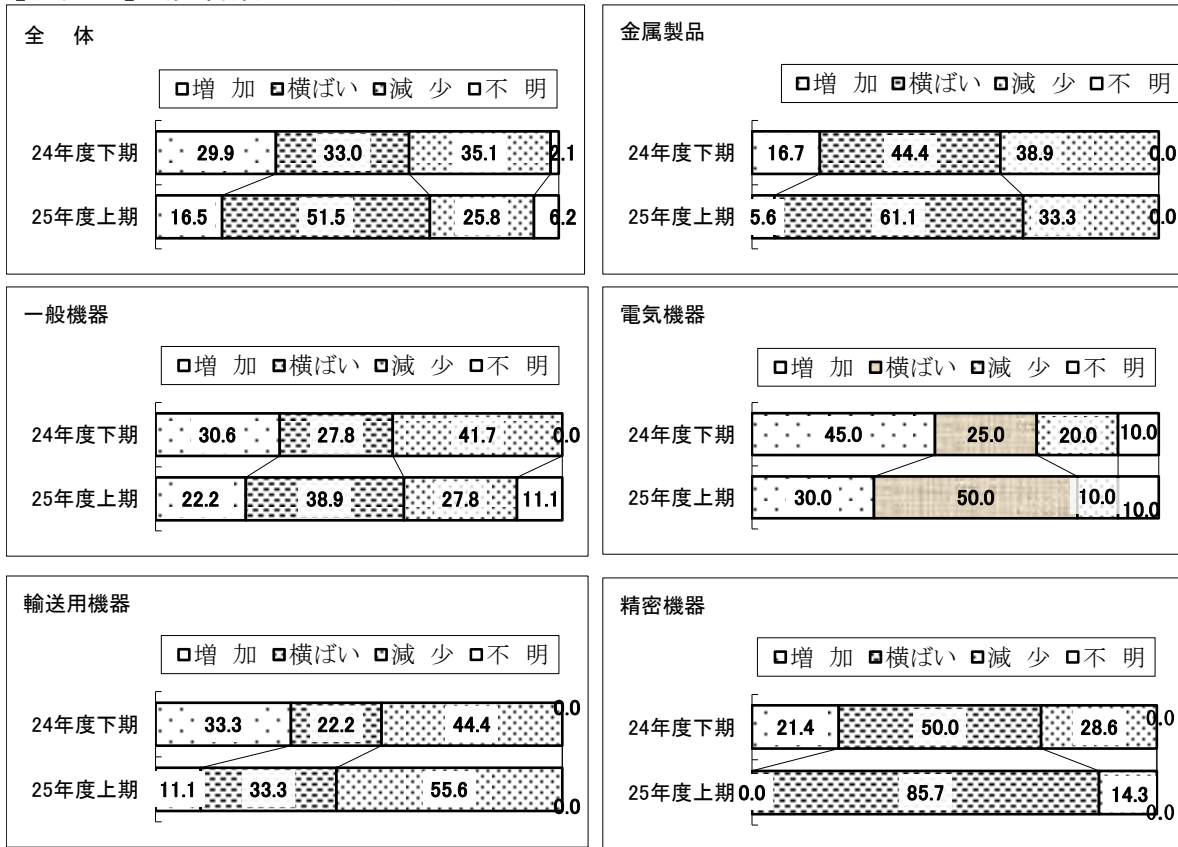
### 【売上状況の比較について】

全体では、前回調査と比較して「増加」が18.9ポイント低下して18.6%となり、「減少」が25.5ポイント上昇して49.5%となった。

業種別では、全業種において「増加」とする企業が減るとともに電気機器を除くすべての業種において「減少」とする企業が増える結果となった。特に、一般機器、輸送用機器及び精密機器においては、「減少」とする企業が5割を超える結果となった。

(2)24年度の「下期」(24.10～25.03)及び25年度「上期」(25.04～25.09)の売上の見通し

【グラフ2】(回答数 97)



\*業種別回答数

24年度下期	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	29	3	11	9	3	3
横ばい	32	8	10	5	2	7
減少	34	7	15	4	4	4
不明	2	0	0	2	0	0
合計	97	18	36	20	9	14

\*業種別回答数

25年度上期	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	16	1	8	6	1	0
横ばい	50	11	14	10	3	12
減少	25	6	10	2	5	2
不明	6	0	4	2	0	0
合計	97	18	36	20	9	14

【売上の見通しについて】

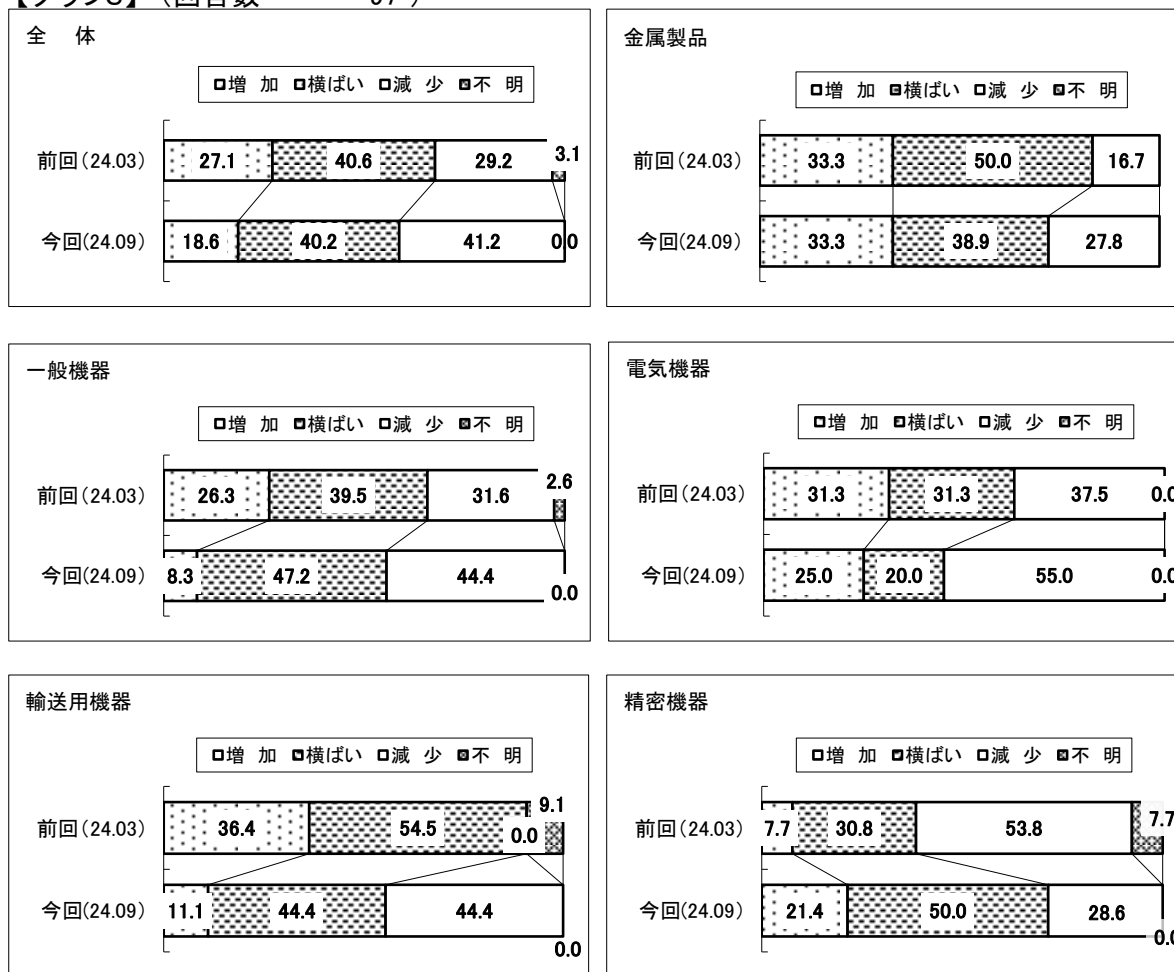
全体では、24年度下期においては「増加」を見込む企業が29.9%に対して、25年度上期においては16.5%と13.4ポイント低下し、「横ばい」を見込む企業が25年度上期において51.5%と24年度下期から18.5ポイント上昇する結果となった。

業種別では、25年度上期は全業種において「増加」を見込む企業が減り、特に精密機器においては0%となった。またすべての業種において25年度上期は「横ばい」と見通す企業が増える結果となった。

### 3. 外注について

#### (1) 平成24年度「上期」(24.03～24.09)と平成23年度「下期」(23.10～24.03)の外注額の比較

【グラフ3】(回答数 97)



\* 業種別回答数

	今回(24.09)	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	18	18.6	6	3	5	1	3
横ばい	39	40.2	7	17	4	4	7
減少	40	41.2	5	16	11	4	4
不明	0	0.0	0	0	0	0	0
合計	97	97	18	36	20	9	14

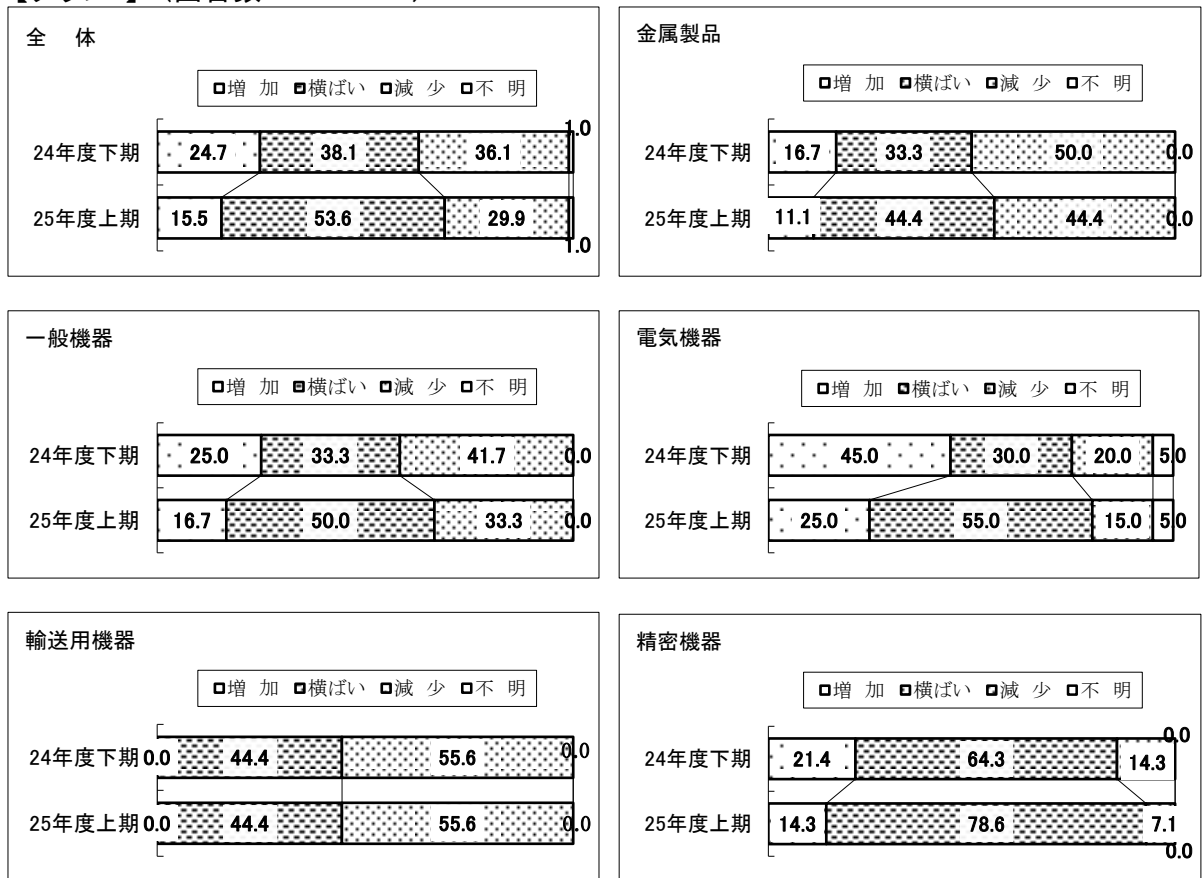
#### 【外注額の比較について】

全体では、前回調査と比較して「増加」とする企業が18.6%と8.5ポイント低下し、「減少」とする企業は12ポイント上昇して41.2%となった。

業種別では、金属製品及び精密機器を除くすべての業種において、「増加」とする企業が減るとともに、精密機器を除くすべての業種において「減少」とする企業が増えた。特に輸送用機器においては、ゼロから44.4ポイント増と大きく上昇した。一方、精密機器においては「増加」とする企業が21.4%と前回調査と比較して13.7ポイント上昇するとともに、「減少」が28.6%と25.2ポイント低下

(2) 24年度の「下期」(24.10～25.03)及び25年度「上期」(25.04～25.09)の外注の見通し

【グラフ4】 (回答数 97)



\*業種別回答数

24年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	24	3	9	9	0	3
横ばい	37	6	12	6	4	9
減少	35	9	15	4	5	2
不明	1	0	0	1	0	0
合計	97	18	36	20	9	14

\*業種別回答数

25年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	15	2	6	5	0	2
横ばい	52	8	18	11	4	11
減少	29	8	12	3	5	1
不明	1	0	0	1	0	0
合計	97	18	36	20	9	14

【外注の見通しについて】

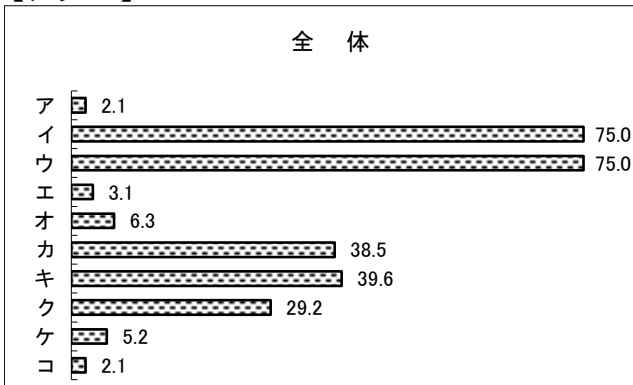
全体では、24年度下期においては「増加」とする企業が24.7%に対して、25年度上期においては15.5%と9.2ポイント低下する結果となった。

業種別では、特に輸送用機器において、24年度下期、25年度上期ともに「増加」とする企業は0%であり、また、輸送用機器を除くすべての業種において25年度上期では「横ばい」を見込む企業が増える結果となった。

(3)受注企業に望む能力について

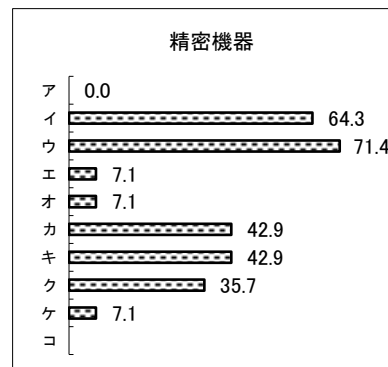
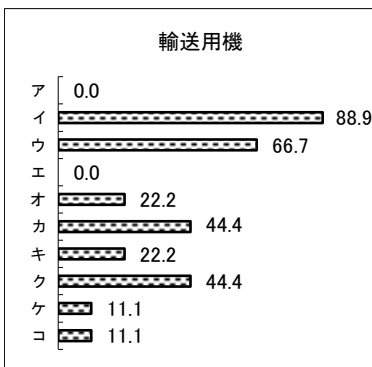
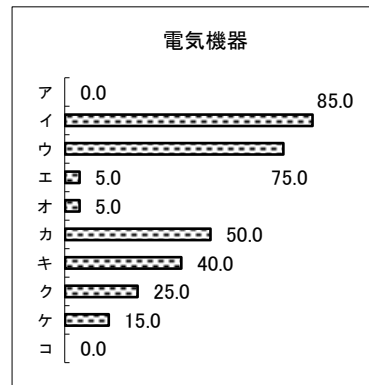
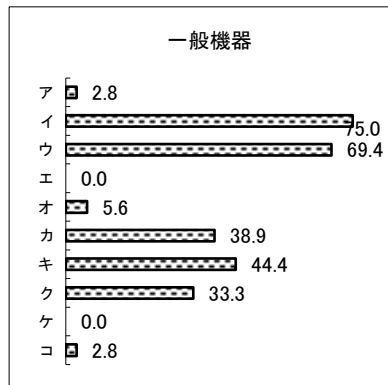
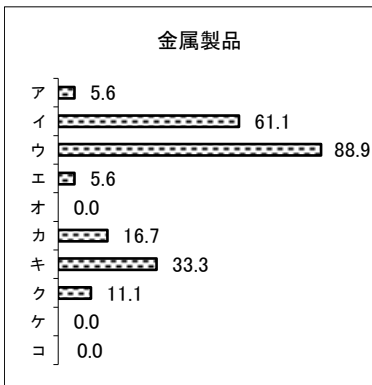
①-2 品質について受注企業に望むこと ※企業数で割戻し

【グラフ5】



\* 重複回答(回計数 265)

グラフの項目	回答数
ア. 要求以上の加工精度	2
イ. 要求どおりの加工精度	72
ウ. バラツキの無い品質安定度	72
エ. 新鋭設備の導入	3
オ. 技術者の育成	6
カ. 工程管理の強化	37
キ. 検査体制の強化	38
ク. 改善提案も含めた体制強化	28
ケ. ISOなどの要求	5
コ. その他	2



業種別回答数	※企業数
金属製品	40 18
一般機器	98 36
電気機器	60 20
輸送用機器	28 9
精密機器	39 14
計	265 97

【品質について】

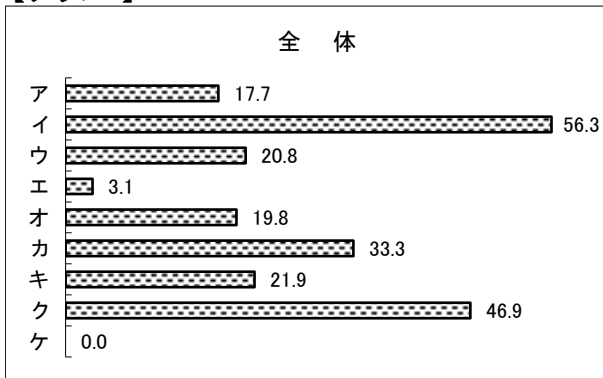
順位にばらつきがあるものの、すべての業種において、「要求どおりの加工精度(イ)」及び「バラツキの無い品質安定度(ウ)」への要求が高くなっている。3位以下は、業種によりばらつきがみられるが、「工程管理の強化(カ)」、「検査体制の強化(キ)」、「改善提案も含めた体制強化(ク)」が続く結果となった。

※品質について (企業数で割戻し)

企業数	96	18	36	20	9	14
	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
ア	2	1	1	0	0	0
イ	72	11	27	17	8	9
ウ	72	16	25	15	6	10
エ	3	1	0	1	0	1
オ	6	0	2	1	2	1
カ	37	3	14	10	4	6
キ	38	6	16	8	2	6
ク	28	2	12	5	4	5
ケ	5	0	0	3	1	1
コ	2	0	1	0	1	0
合計	265	40	98	60	28	39

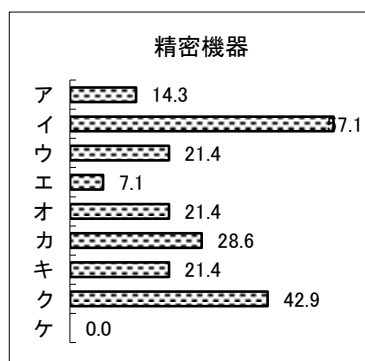
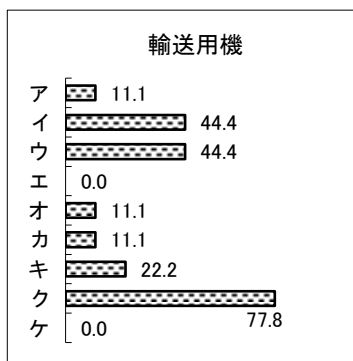
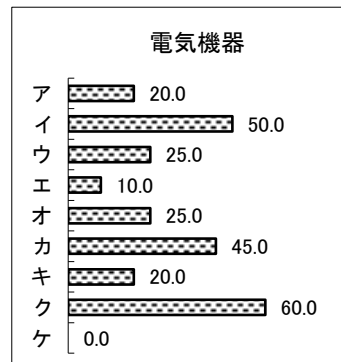
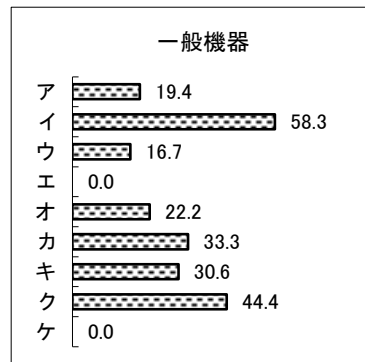
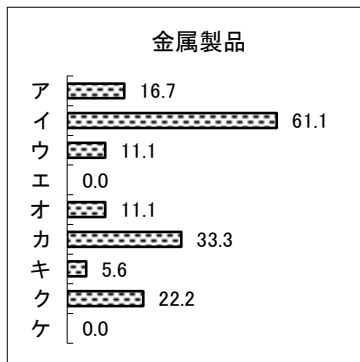
(4) 受注企業に望む能力について

②-2 コストについて受注企業に望むこと ※企業数で割戻し  
【グラフ6】



\* 重複回答(回答数 211)

グラフの項目	回答数
ア. 要求以上の低コスト対応	17
イ. 発注内容に応じたコスト対応	54
ウ. 適正な見積書作成能力	20
エ. 新鋭設備の導入によるコストダウン	3
オ. 工程管理の強化によるコストダウン	19
カ. 市場価格への対応	32
キ. 海外調達、進出等による低コスト対応	21
ク. 改善提案によるコストダウン	45
ケ. その他	0



* 業種別回答数	※企業数	
金属製品	29	18
一般機器	81	36
電気機器	51	20
輸送用機器	20	9
精密機器	30	14
計	211	97

【コストについて】

電気機器及び輸送用機器を除くすべての業種において、「発注内容に応じたコスト対応(イ)」を最も重視する傾向にある。次いで、「改善提案によるコストダウン(ク)」、「市場価格への対応(カ)」、「海外調達、進出等による低コスト対応(キ)」についても受注企業に期待している

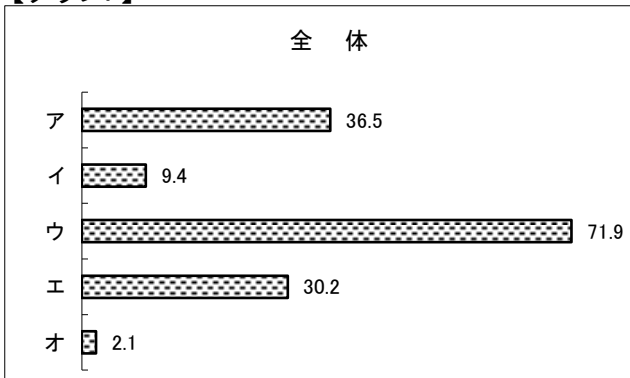
※コストについて 企業数で割戻し

企業数	97	18	36	20	9	14
	全	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
ア	17	3	7	4	1	2
イ	54	11	21	10	4	8
ウ	20	2	6	5	4	3
エ	3	0	0	2	0	1
オ	19	2	8	5	1	3
カ	32	6	12	9	1	4
キ	21	1	11	4	2	3
ク	45	4	16	12	7	6
ケ	0	0	0	0	0	0
合計	211	29	81	51	20	30



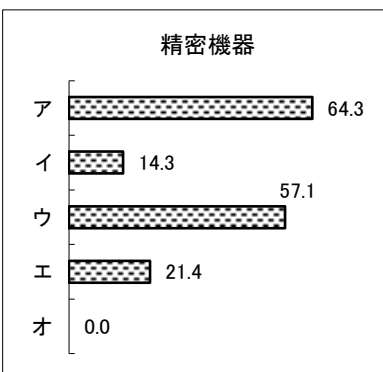
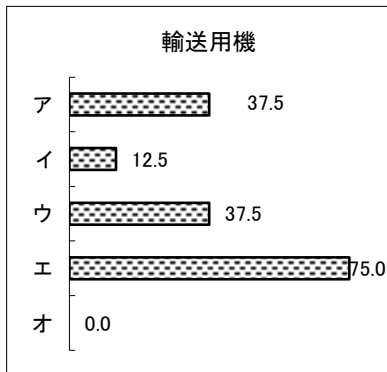
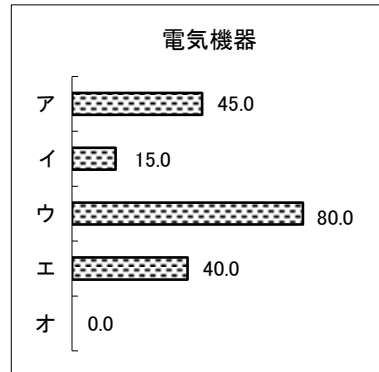
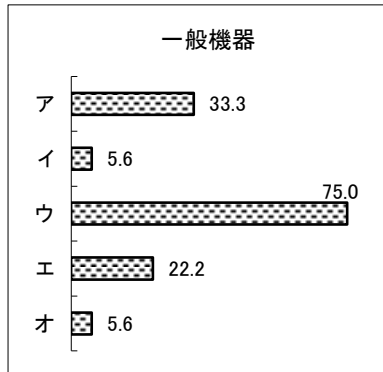
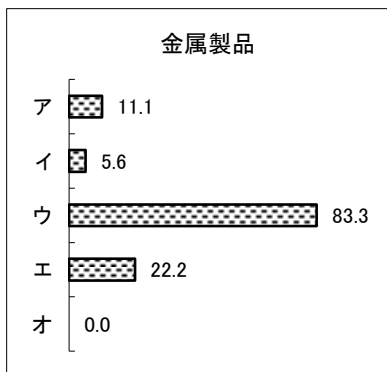
(5)受注企業に望む能力について

③-2 納期について受注企業に望むこと ※企業数で割戻し  
【グラフ7】



\* 重複回答(回答数 144)

グラフの項目	回答数
ア. ジャストインタイムへの対応	35
イ. 在庫保有等による対応	9
ウ. 状況に応じた柔軟な納期対応	69
エ. 納期管理、在庫管理能力の強化	29
オ. その他	2



* 業種別回答数	※企業数
金属製品	22 18
一般機器	51 36
電気機器	36 20
輸送用機器	13 8
精密機器	22 14
計	144 96

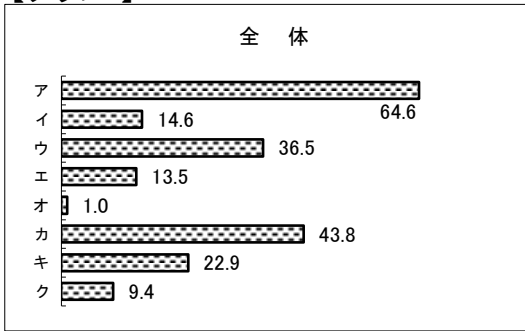
【納期について】

輸送用機器及び精密機器を除くすべての業種において「状況に応じた柔軟な納期対応(ウ)」への要望が最も高く、一方、輸送用機器においては「納期管理、在庫管理能力の強化(エ)」を、精密機器においては「ジャストインタイムへの対応(ア)」を重視する傾向がみられる。

企業数	※納期について 企業数で割戻し					
	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
ア	35	2	12	9	3	9
イ	9	1	2	3	1	2
ウ	69	15	27	16	3	8
エ	29	4	8	8	6	3
オ	2	0	2	0	0	0
合計	144	22	51	36	13	22

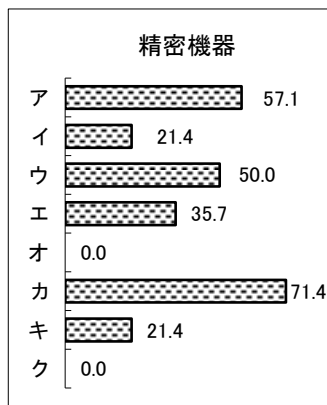
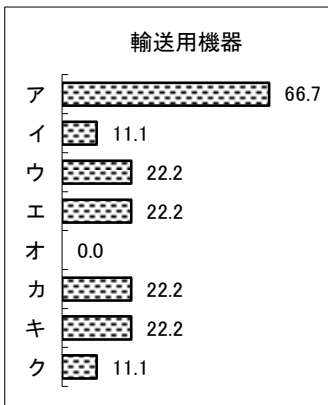
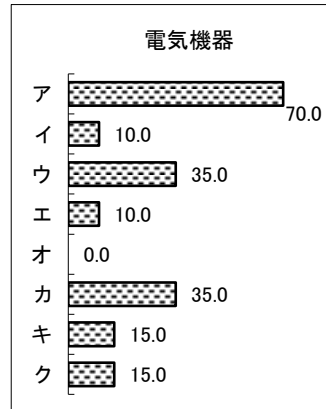
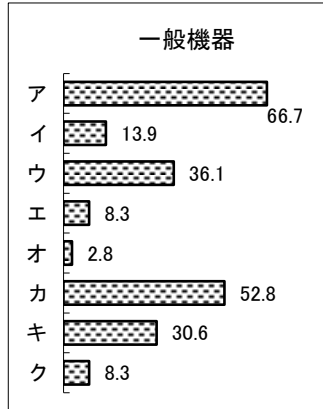
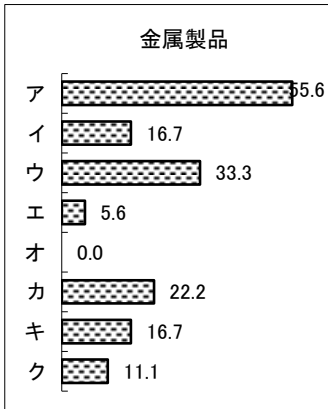
(6) 新規外注先企業を探す場合の情報収集の方法について ※企業数で割戻し

【グラフ8】



\* 重複回答(回答数 198)

グラフの項目	回答数
ア. 受注企業からの営業活動	62
イ. 財団(機構)からのあっせん	14
ウ. ビジネスパートナー交流会等の各種展示会見学	35
エ. 情報誌、企業名簿等からの情報収集	13
オ. 説明会を開催し、資材調達情報を公開	1
カ. インターネットホームページで資材調達先を公募	42
キ. 財団(機構)開催による商談会への参加	22
ク. その他(グループ内や他社・取引先からの紹介)	9



*業種別回答数	※企業数
金属製品	29
一般機器	79
電気機器	38
輸送用機器	16
精密機器	36
計	198
	97

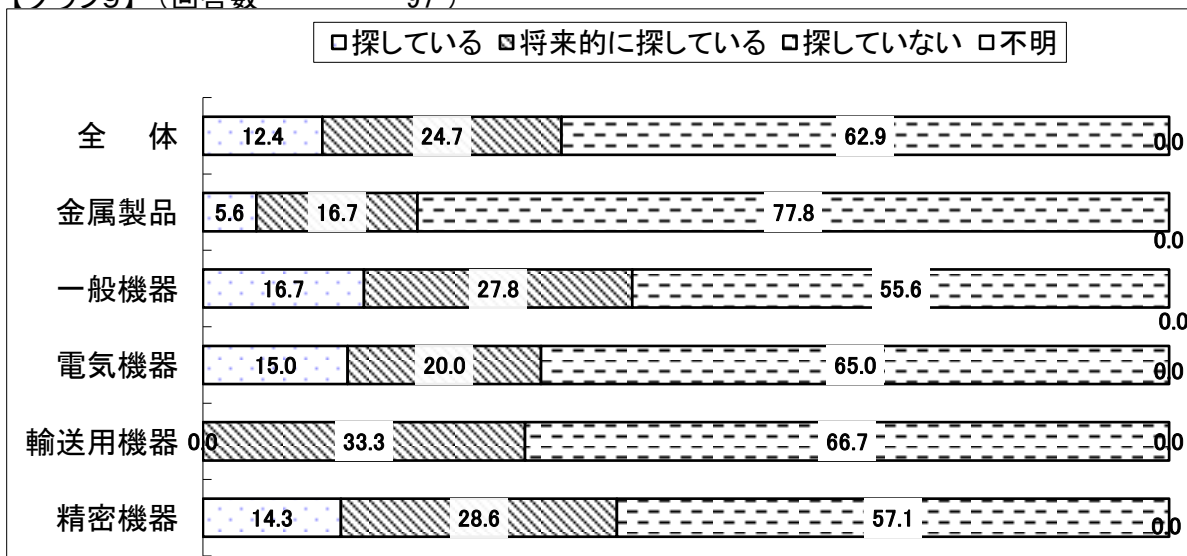
【情報収集について】

ほとんどの業種において、「受注企業からの営業活動(ア)」、「ビジネスパートナー交流会等の各種展示会見学(ウ)」及び「ホームページでの資材調達(カ)」を重要視しているが、精密機器においては、「ホームページでの資材調達(カ)」を最重要視する企業が多い。

※情報収集について		企業数で割戻し					
企業数	97	18	36	20	9	14	
	全	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	
ア	62	10	24	14	6	8	
イ	14	3	5	2	1	3	
ウ	35	6	13	7	2	7	
エ	13	1	3	2	2	5	
オ	1	0	1	0	0	0	
カ	42	4	19	7	2	10	
キ	22	3	11	3	2	3	
ク	9	2	3	3	1	0	
合計	198	29	79	38	16	36	

【(7)新規外注先企業の開拓について】

【グラフ9】（回答数 97）



\*業種別回答数

	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
探している	12	1	6	3	0	2
将来的に探している	24	3	10	4	3	4
探していない	61	14	20	13	6	8
不 明	0	0	0	0	0	0
合計	97	18	36	20	9	14

【新規外注先企業の開拓について】

全体として、新規外注先を「探していない」(62.9%)とする割合が、「探している」(12.4%)と「将来的に探している」(24.7%)を合わせた割合(37.1%)を25.8ポイント上回る結果となった。

業種別では、「将来的に探している」を含め「探している」とする企業は、すべての業種で5割を下回り、特に輸送用機器においては0%となった。一般機器においては、前回調査時点で「将来を含め探している」とする企業が6割を超えたが、今回については5割を下回る結果となった。

## 公益財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134(京都府産業支援センター)

TEL(075)315-9234 / FAX (075)315-9240 E-mail:office@ki21.jp

<http://www.ki21.jp>